

## 「色が変わる蜘蛛」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

ホワイト・バンデット・クラブ・スパイダー (white banded crab spider・カニグモ科) というクモのメスは、背景の色 (たとえば花の色) に合わせて、体の色を見事に変えることが出来るという。しかし、今回はそういう離れ業ではなく、錯視の話である。

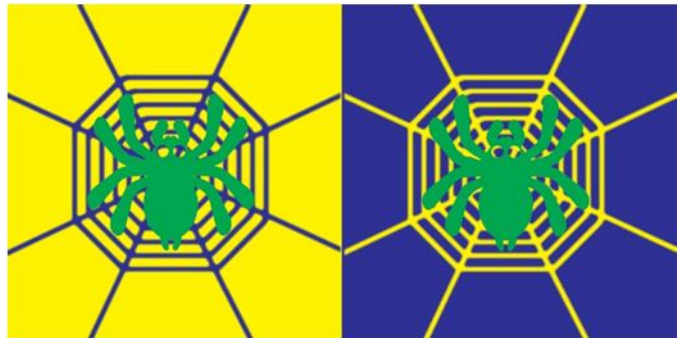
前回、手前の線や格子の色に、背後の色が同化されて、その色の近づく現象を紹介した。その原理を利用すると、いろいろと面白い「だまし絵」を作ることができる。では、さっそく「実験」してみよう。



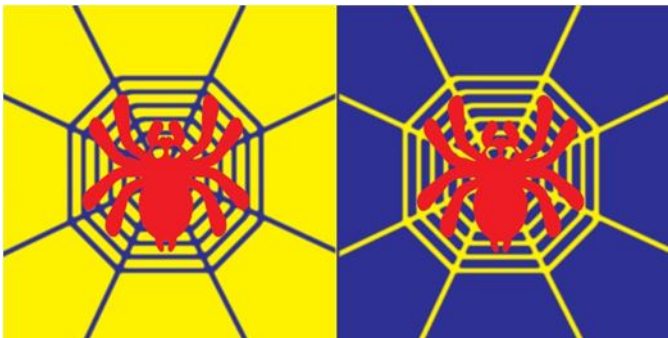
①赤いクモが2匹いる。まったく同じ色である。



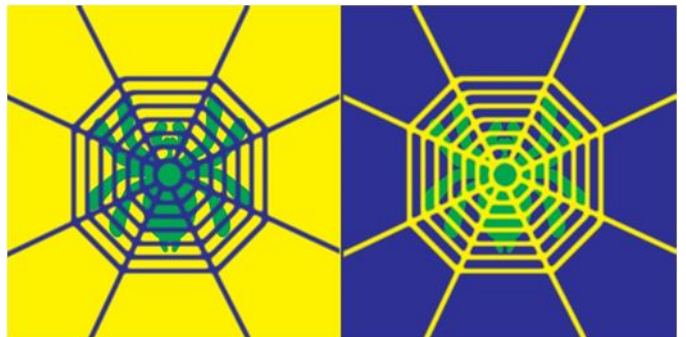
④緑のクモが2匹いる。まったく同じ色である。



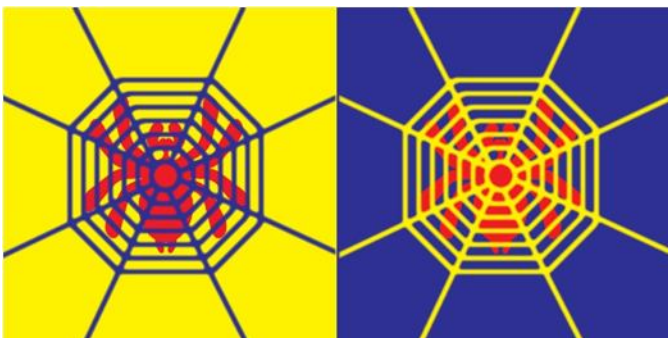
⑤背景も糸の色もちがうクモの巣の上に置いてみた。しかし、何も起きない。同じ緑色にクモに見える。



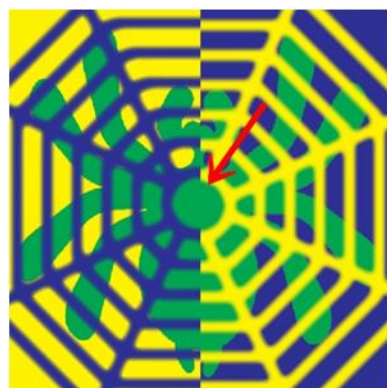
②背景も糸の色もちがうクモの巣の上に置いてみた。しかし、何も起きない。同じ赤いクモに見える。



⑥同じクモを、クモの巣の向こう側に置いてみた。クモの色が劇的に変化して、2色になってしまった。



③同じクモを、クモの巣の向こう側に置いてみた。クモの色が劇的に変化して、2色になってしまった。自分で作図したのに不思議でしかたない。別の色ではどうだろう。試してみよう。



元は同じ色のクモとわかっているのに、どんなに「同じ色のはずだ」と強く念じても、やはり同じ色には見えない。左の図は、中心部をくっつけた画像だ。確かに左右のクモの色は同じである。人間の目や脳は、いとも簡単にだまされてしまうのである。